

Safe Work KOCHI 見える化運動



高知労働基準監督署では、「見える化」による効果的な安全衛生活動を

「Safe Work KOCHI 見える化運動」として、推進しています。

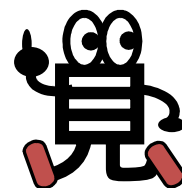
主唱者：高知労働基準監督署

協賛者：高知労働基準協会、（一社）高知県労働基準協会連合会、建設業労働災害防止協会高知県支部、
林業・木材製造業労働災害防止協会高知県支部、陸上貨物運送事業労働災害防止協会高知県支部、
港湾労働災害防止協会高知支部、（一社）日本労働安全衛生コンサルタント会高知支部、
高知産業保健総合支援センター



「見える化」ってなんですか？

「見える化」とは、通常、視覚的に捉えられない危険・有害性を作業員に対して可視化（見える化（見える、見えるようにする、なかなか見えないものを容易に見せるようにする））することです。



「見える化」に取り組むとどんな効果が期待できるの？

作業員が
労働災害に対する認識を
共有できます。

行うべき安全衛生活動を
作業現場で見えるように示すことで、
各作業員自らが行うべき
安全衛生活動への意識が高
まります。



「見える化」に取り組む過程で、
全作業員が参加することにより、
作業員全体に広く
安全衛生意識が
共有されます。



「見える化」って、危険箇所の見える化・・・だけ？

「安全見える化」とは、危険・有害性に対する見える化ではありません。

たとえば、経営トップの安全宣言、安全衛生委員会の安全衛生活動状況、作業に関する安全ルールなどの安全に関する取り組みを見えるように掲示するなどの取り組みも「安全見える化」です。

このパンフレットでは、「「トップの所信表明」・「トップの安全宣言」の見える化」「私の安全宣言」の見える化」「危険・有害性」の見える化」「安全ルール」の見える化」に分けて、安全見える化事例を掲載しております。皆様の会社における「安全見える化運動」の推進にお役立てください。

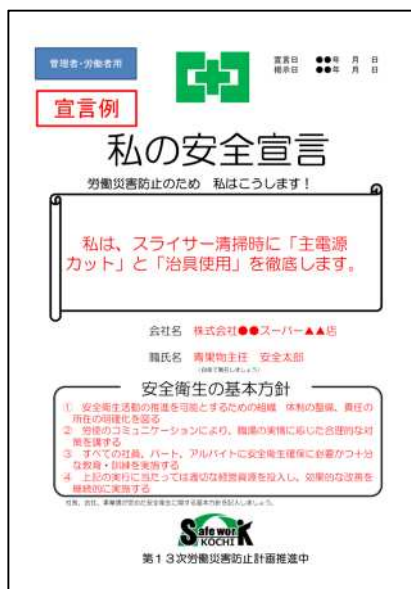


「私の安全宣言」の見える化」「危険・有害性」の見える化」「安全ルール」の見える化」事例については、厚生労働省「あんぜんプロジェクト」内の「見える」安全活動コンクール作品より抜粋
また、その他事例についても、厚生労働省「あんぜんプロジェクト」<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/>内の「見える」安全活動コンクールよりご覧いただき、ご活用ください。

安全衛生方針・安全宣言



経営トップ用



管理者・労働者用

「SafeWorkKOCHI」ロゴマーク

「Safe Work KOCHI」をキャッチフレーズに労働災害防止活動に取り組みましょう！



高知労働局では、平成28年1月から高知県内の各事業場で、労働災害防止計画（平成30年4月からは第13次労働災害防止計画が始まりました）を推進するため、「Safe Work KOCHI」をキャッチフレーズとする官民一体となった取組を実施することにより、労働災害防止に向けた更なる取組の強化を図っています。

「Safe Work KOCHI」ロゴマークは、「労働災害防止活動の推進」、「事業場内外の安全意識の高揚」などを目的とする場合には、各団体、企業、個人が自由にご活用いただけます。



「安全衛生方針・安全宣言」、「Safe Work KOCHI」ロゴマークや関連資料は、高知労働局ホームページから無償でダウンロードできますので使用方法をご確認の上、ご利用ください。

高知労働局ホームページ「<https://jsite.mhlw.go.jp/kochi-roudoukyoku/>」
トップページにある「Safe Work」のロゴマーク  をクリック！



「トップの所信表明」・
「トップの安全宣言」の
見える化

労働災害の防止及び最適な職場環境の形成のためには、最低基準の法令遵守は当然のことですが、経営トップ自らがその所信表明・安全宣言することにより、労使双方が労働災害防止のための共通認識を持ち、一丸となって取り組むものです。このため、事業場の労働災害防止活動の現状と将来のあるべき姿を確認の上、最終の到達点をめざし、トップ自らが「安全衛生方針」を表明します。

「私の安全宣言」の見える化

各作業者が取り組む安全衛生に係る遵守すべき事項について、業種、作業内容、事業場内における役割等に応じた安全宣言を表明の上、その内容を画面による掲示、保護帽等への貼り付け等を行い、広く宣言するものです。各作業者が安全衛生行動等を宣言することは、経営トップから押し付けられている行動ではなく、個人個人が自覚と責任を持った自主的な行動となるものです。



安全宣言腕章

作業員自身が、「私の安全宣言」を自筆で記入し、作業中は常時身に付け、その「腕章」を自身や他の作業員が目にする事で、安全を願う気持ちを、思い出させ、気付かせる。

「行動前のひと呼吸活動」の見える化

「行動前のひと呼吸活動」について、自分の行動目標を『胸ワッペン』に直筆で記載することで、「自らの行動目標を常に意識する」「相互注意がしやすい環境となる」ことを狙う。
 ・期限を決めて、『胸ワッペン』を切り替えることで活動のマネリ化を防止



オペ、管理者の宣言による安全意識の向上

重機の運転、モルタル練場や資材置き場の管理、各担当エリアにおいて操作者、管理者、班名の宣言によって一層安全意識や責任感の向上が図ることが出来る。

0災で行こうヨシ！ 全社員が笑顔で安全宣言

玄関には無災害の願いを込めた「0災で行こうヨシ！」の文字と全社員の顔写真が掲示してあります。安全作業を約束するために顔写真の下には取得資格を記載しています。



顔写真付き「職長安全宣言」の掲示

全作業員が目にする位置に「職長安全宣言」を掲示し、全作業員の安全に対する意識を向上させている。そして、安全宣言と顔写真を掲示することで、安全宣言の達成をあきらめない環境を構築している。

「危険・有害性」の見える化



安全走行の「見える化」

工場内通路でフォークリフト走行時死角を無くし安全走行につなげる為のミラーを設置した。

使用道具に潜む危険有害性の「見える化」

工場内で使用する、電動道具に潜む危険有害性を洗い出し、誰もが一目で分かるように「悪い使用例」「良い使用例」を使用道具のそばに掲示し、安全作業に努めるよう啓発しています。



危険・有害性のある場所、機械・設備、作業の危険・有害性の特定、安全衛生上配慮の必要な作業者等について、確認ポイントの語句、図示、写真、光、音等で注意喚起を行うことにより、その場所への接近、その機械・設備の使用、作業の実施等に当たった安全衛生対策の徹底を図るものです。

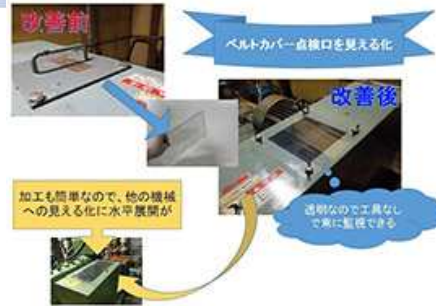


リフターの改善と見える化でゼロ災達成!!!

リフターにパレット・ビシャモンを載せると、はみ出でしまい載せにくく危険でした。リフターを改良しトレーで枠を表示したことで作業者と製品を保護し安全で、且つリフターに載せやすくなり作業効率も向上させることができました。リフターが稼働中はパトライトが点灯し周囲にも注意喚起しています。

ベルトカバー点検口を見える化

機器のベルト点検時、ベルトカバー点検口のベルトを外して、ベルトカバー内部のベルトを点検していましたが、外したベルトをベルトカバー内部に落としてヒヤリとした経験から、点検口をアクリル板に変更。



通勤ヒヤリマップに見るヒヤリポイント事例

交通安全の意識向上を目的とし従業員に通勤時にヒヤリと感じるポイントを「通勤ヒヤリマップ」として提出してもらい、さらに、そのヒヤリポイントをタイプ別に分類し「見える化」、掲示して注意喚起を行いました。

「安全ルール」の見える化

通常作業における作業手順、確認ポイント等を語句、図示、写真、光、音等で注意喚起することにより労働者の遵守事項を表示し、安全衛生対策の徹底を図るものです。作業における省略・短絡行動等のルール違反を防止するためには、「安全ルール」の見える化が一つの方法としてあります。これは、作業者の気付き、感受性の向上等につながります。また、作業者だけでなく他の者にも見えることによって、作業者はルールを守る行動に徹することとなります。



軌陸車使用時の事故防止対策

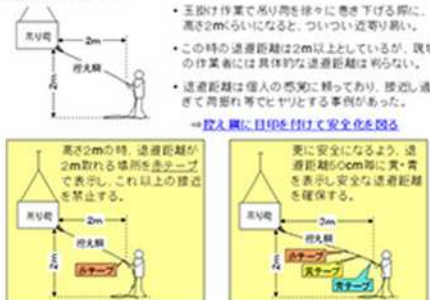
運転者は停車し降車した際、鉄輪に手歯止めをおこない、運転ハンドル、運転席側のドアに手歯止めをしている事を明示しているマグネットを張り付ける。乗込む際には、異常がない事を確認後、手歯止めを外して、明示しているマグネットシートを外さないとドアを開けて乗り込む事が出来ない事により、手歯止め外し忘れの事故防止を図っている。

適正保護具の表示

保護具に関して「保護手袋」や「保護マスク」にも様々な種類があるため、誤使用を防止するため適正保護具を写真掲示している。



控え網の安全化



玉掛け控え網による退避距離の見える化

玉掛け作業時、吊り荷からの退避距離を確保するため、控え網に目印を付けて安全な退避距離が見えるようにした。

高さの見える化

柱を利用して高さ制限を「見える化」目立つ色彩にて表示しルール以上の積載を行わない活動を進めている。



「合図と退避シール」を貼り、伐倒時のルールを「見える化」

林業現場において、立木伐倒時の合図および退避不足が原因で立木に激突される災害が発生しているため、「合図と退避シール」を作業中に目に付く場所(チェーンソー)に貼ることにより「見える化」し、確実な実施を推進している。

当該事例は当署管内事業場における取組です。(厚生労働省「あんぜんプロジェクト」内にはございません。)
「合図と退避シール」等に関する情報は 高知労働局ホームページ内
(https://jsite.mhlw.go.jp/kochi-roudoukyoku/news_topics/kantokusho_oshirase/kochi_roudoukiun/_120646.html) をご参照ください。

高知労働基準監督署 合図と退避 検索



では、さっそく「見える化」に取り組んでみようと思います！
「見える化」に取り組む際に注意することってありますか？

(1) 安全衛生対策の的確な実施について

安全衛生対策としては、安全衛生管理体制を確立し、機械設備に対する安全措置、作業の安全化、安全衛生教育等を的確に実施することが必要です。「見える化」は、これらの安全衛生対策の実施に当たって、より効果的な対策となるような取組手法の一つであって、もととなる対策を的確に実施することなく、取組手法たる「見える化」だけを好事例をまねて実施したとしても、十分な安全衛生対策とはならないことに留意ください。

(2) 見やすさに対する工夫について

見える安全活動の中には、小さい文字を使用した掲示物を利用している事例が少なからずあるが、高年齢労働者が増加している現状を踏まえ、可能な限り文字の大型化や写真・図絵を活用すること等により、「見える化」を目的として作成された資料等を実質的に見えやすくする工夫も重要です。



(3) 外国人労働者を雇用する事業場について

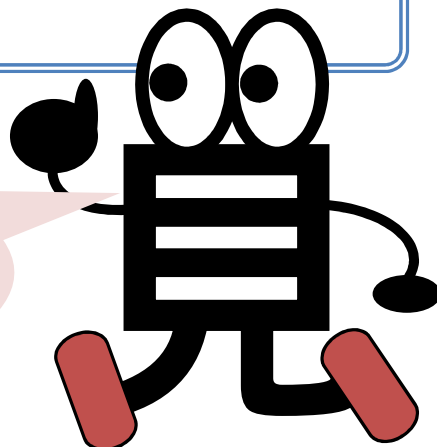
外国人労働者を雇用する事業場では、安全標識に母国語を入れることにより、外国人労働者にもより標識の意味が分かるように工夫することも重要です。

あなたの会社の「見える化運動」の取組事例を教えてください

高知労働基準監督署では、各事業場の「見える化」の取組事例を収集しています。ぜひ、情報提供いただきますよう、よろしくお願いいたします。

また、情報提供いただいた活用事例は、好事例としてHP等を通じてご紹介させていただきます。

皆様の優しさ（誰もが安心して健康に働くことができるための配慮）でできた「見える化」、
ぜひ、共有させてください。
情報提供、お待ちしております



高知労働局ホームページ

「<https://jsite.mhlw.go.jp/kochi-roudoukyoku/>」



厚生労働省 「あんぜんプロジェクト」

「<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/>」

